



## 講演会レポート

### 「日本国憲法を実現するフォーラム」

憲法をいかす自由なアイディアの飛び交った有意義な1日

7月14日(日)、渋谷・こどもの城で行われた「世直し弁護士とともに、日本国憲法を実現するフォーラム」。HuRPも後援団体となって協力したこのイベントに、猛暑のなか、100名の方々が来場した。

まずは宇都宮健児弁護士の講演。クレジット・サラ金の多重債務問題にかかわってきた宇都宮氏は、「それでも借りざるを得ない人たち」が存在する以上、悪質業者をいくら取り締まてもこの問題は解決できない、ということに気づいたところから貧困問題に取り組むようになったと語る。

生活保護受給者が210万人を超えたが(2012年)、イギリスは500万人、ドイツは700万人が受給しているとのこと。日本では捕捉率(所得が生活保護基準以下の世帯のうち、実際受けている割合)が厚労省の数字でさえ3割と出ている事実を挙げ、「25条を根付かせなければ」と話す。「生活保護受給を、申し訳ないことだと思ってしまっている。今の憲法が規定している権利を、知識としてではなく、実践するための教育が必要だ」。

次に登壇した伊藤真弁護士は、改憲論議をす



宇都宮健児弁護士(左)と伊藤真弁護士(右)

る際には、「憲法そのものをよく知り、改憲によって私たちの生活がどう変わるかを具体的に考え、現実を直視することが必要」と語り、データを示しながら、現在の社会状況——マスコミから流される嘘、脅かされる生存権、そして3.11にまつわる情報統制と無責任主義——を説明した。さらに、自民党の改憲草案の文言を引きつつ「個人尊重のための立憲主義という人類の英知、また、積極的非暴力平和主義という日本の英知を否定するもの」と説明。そして、「今を変えなければ未来は変わらない。今を生きる者としての責任を果たすことを期待している」と参加者に語りかけた。

第2部では、「憲法が活きる社会」となるために

は、私たち一人ひとりが何に注目してどう行動すればよいかについて、「参院選だけでなく、長期的なスパンで考え、市民運動の力をつなげて」と宇都宮氏はソウル市長を出した韓国の市民団体(参与連帶)を紹介しながら語り、伊藤氏は、「発信する方法論を共有すること。それから、1人でできることも、同時に探してみては」と続け、その例として、憲法や人権の問題について家庭や学校で話題にしたり、一見関係ないと思うような雑誌等に「憲法特集を組んで」と投稿してみる、などのアイディアを語った。

第3部は、自衛隊イラク派兵差止め名古屋訴訟の元代表、池住義憲立教大学教授がファシリテーターとなり、会場から登壇者の2人へ言葉をつなぐ。平和国家への道程について、あるいは憲法を理解するための方法など、たくさんの質問・意見がよせられた。それらの言葉の多くに「自分たちが主体となって、自分たちの住むこの国そして憲法について本当のことを知り、積極的に考えて行動していきたい」という決意を感じら

れたのが印象的だった。

このイベントは、参院選1週間前である。選挙結果は「自民党の勝利」だった。しかしこのフォーラムの参加者は、伊藤氏が好きな言葉として挙げた「Festina Lente」を思い出し、知恵をしほって次の手を考えているのではないだろうか。「直訳はゆっくり急げ、でもこの場合は『急がず焦らず諦めず』」。

(AT)



## 2013年7月・参院選の結果から見えてくる希望は—— HuRP事務局

第2次安倍政権発足後、初の大型国政選挙となった参議院選挙。みなさんは、どんな思いで一票を投じましたか？ 憲法改正、原発問題、被災者支援、外交問題、財政再建、TPP(環太平洋連携協定)、社会保障など、争点は数多くありました。

参議院で3年ごとに行われる改選のうち、今回、与党の自民・公明両党で過半数122議席を得るには、両党で63議席を確保する必要がありました。

ましたが、結果、自・公は76議席を得ました。このことにより衆参両院で与党の議席が過半数に達し、「ねじれ国会」が解消されました。

しかし、今回の選挙結果から、アベノミクスの効果や財政再建ばかりをアピールし、憲法「改正」における具体的な狙いを隠し、一方で国内外の脱原発の流れに反した原発再稼働をめぐる企てを押し進め、3.11被災地復興支援や社会保障に関する課題に対して真剣な取り組みを見せな

い自民党中央の勢力を、国民が明らかに「支持」していると言えるのでしょうか。

\*\*\*

そもそも、現在の選挙制度が多くの死票を生むということを、HuRP 事務局は昨年の衆議院選挙後の通信内でも指摘しました。——「(現在の選挙制度は)小選挙区制中心の制度となっており、多様な国民の意思は議席数に比例的に反映されません。小選挙区は一人しか当選することができないため、相対的に優位となった大政党候補などが圧倒的に有利です。そのため多くの死票が出ます。つまり、本当の意味で民意が反映されていないということです。」

総務省は 7 月 3 日現在の選挙人名簿登録者数を同 4 日に発表し、選挙区の議員1人当たりの選挙人名簿登録者数を算出。最多が北海道(定数 4、改選数 2)の 115 万 3852 人、最少が鳥取県(定数 2、改選数 1)の 24 万 1867 人で、「1 票の格差」は 4.77 倍となりました。昨年 11 月、改正公職選挙法が成立しましたが、前回 2010 年参院選時の 5.0 倍から、格差は改善されたとは言えません。今回も選挙後すぐに、一票の格差が是正されないまま行われた今回の参院選は無効だと訴える訴訟が、各地で提起されています。

このような状況下にもかかわらず、今回の参院選後「国民の絶対的支持を得た」と豪語する安倍首相が、日本維新の会やみんなの党など改憲派とともに、憲法 96 条改正と 9 条改正の実現(自衛隊の国防軍化)を加速させることは必至でしょう。さらに東京大学研究室と朝日新聞の調査によると、改選後の参議院で改憲派は 75%、96 条改正の賛成派は 50% に達するという報告もあります。憲法の根幹を揺るがす国会の傾向を、た

だ傍観して済ませることが許されるでしょうか。

\*\*\*

しかも注視しなければならぬのは、この国会の勢力構造がそのまま国民の支持と一致していないという点です。今回の参院選の結果は投票率が 50%ほどにとどまり、一人ひとりの一票が平等に与えられないまま選挙が行われた結果だということです。

それは、世論調査で憲法「改正」を支持する割合が 40%であることをみても、国会の勢力図と主権者である国民の間に明確な意識のずれがあることからも、日本全体が憲法「改正」への道を、簡単に歩む方向を選んだとは決して言い切れないということです。そして、少なくとも投票していない有権者が半数近くいたことから、これから国民一人ひとりによる本当の世論が形成され、「改憲」に対して立ち向かう可能性は十分にあります。

ですから、今回の選挙結果という現実を受け止めつつ、日本国憲法が示す一人ひとりのいのち——すなわち人権が守られ、互いに認め合い共存する平和な社会の実現に希望と展望を持つことが大切だと思います。また、このことを HuRP の活動で具体的に進めていきたいと思います。たとえばそれは、日本国憲法・前文を読み返したり、現在の憲法を活かすためのフォーラムへの協賛に加わったり、被災地を再訪する企画を立てたり、主権者である自分たちが主導し考えて実現化する活動です。

HuRP では、これからも日本国憲法が、まずもつて「統治権力を拘束する法規範」であることを基にして、これから起こると考えられる日本国憲法に反する動きに対して、日本国憲法とともに立ち向かっていきたいと思います。

～日本社会を憲法の視点で多面的に検証～  
「法学館憲法研究所報」第9号、刊行・好評発売中！

青井美帆・学習院大教授と伊藤真所長の対談録「憲法と今にちの日本社会」、  
韓国・平和博物館の金英丸さんの講演録、浦部法穂・法学館憲法研究所顧問の講義録  
「経済と憲法」などを収載し、日本社会を憲法の視点で多面的に検証するものとなっています。

〈目次〉

- ◇巻頭言…… 浦部法穂
- ◇対談「憲法と今にちの日本社会」…… 青井未帆・伊藤真
- ◇講演録「歴史に向き合い平和を考える  
～日本国憲法と東アジアの平和～」…… 金英丸
- ◇論文「憲法改正の必要性を考える  
～自由民主党の改正草案をもとに～」…… 藤井正希
- ◇講義録「経済と憲法」…… 浦部法穂

「法学館憲法研究所報」第9号

2013年7月発刊/B5版・100ページ/800円（税込み）

▼法学館憲法研究所 TEL03-5489-2153 FAX03-3780-0130

問い合わせメールアドレス : info@jiclp.jp



## 「日本国憲法・前文 自分語訳」HPに掲載しました！

HuRPのメンバーが今ある憲法を理解し、活かすために、その前文を自分たちの言葉で訳したものを、ホームページに掲載しました。他のページとあわせて、ぜひご覧ください！

The screenshot shows the homepage of the Human Rights and Peace Information Center Japan (HuRP). The header includes the logo and name in English and Japanese, along with a phone number. A main banner features a blue circle with a pen icon and the text '日本国憲法・前文を自分語訳しよう！' (Let's self-translate the Japanese Constitution Preamble!). Below the banner, a text box explains the purpose of the translation project. Navigation links for 'HuRPについて', 'イベント', '報告', and '参加する・応援する' are at the bottom.

◀HuRPのホームページ  
(トップページ)  
<http://www.hurp.info/>

【編集後記】▼参院選が終わり、この国がまた戦前のような暴走を始めています。既得権にしがみつく人たちが、これからどこへ向かうのか、細心の注意をはらうべき時だと思います。▽世界各地で熱波が観測され、地球が悲鳴をあげている。最新の研究によると、植物による大気汚染物質の吸収量が高温下では減少するため、熱波の発生時には想定以上に大気汚染が深刻化する恐れがあり、人命にも影響するそうだ。熱中症に気をつけながら、エコを今まで以上に意識せざるを得ない夏になりそうだ。（望）